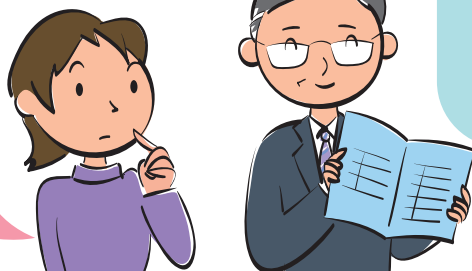


### 3 家計簿に置き換えてみよう!

大きすぎてピンとこない予算だけど、我が家の家計簿に例えると、どうなるのかしら?



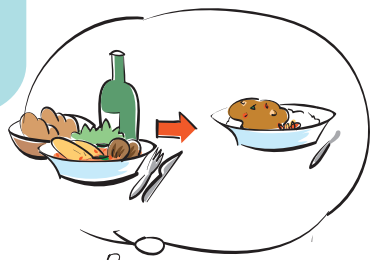
そうですね、市の予算を家計簿に置き換えて考えてみましょう。

#### 例えば、年収を500万円とすると…

収入月額		支出月額	
月収	お父さんの給料とお母さんのパート収入 (市税等の自主財源)	義務的経費	食費(人件費)
	416,700円		医療費など(扶助費)
			ローンの返済(公債費)
役所からの助成金・奨学金 (国・県支出金等)	103,700円	156,000円	79,900円
154,400円	車の購入・自宅の増改築・修繕費 (投資的経費・維持補修費)	104,200円	
各種ローンの借入金 (市債発行)	75,600円	子どもへの仕送りなど (繰出金・補助費・出資金・貸付金など)	134,300円
収入計	646,700円	光熱費・被服費など (物件費)	68,600円
		支出計	646,700円



食費や医療費(義務的経費)が多いですが、これは生活するためには削るのが難しい経費です。



いろいろな経費がかかって何かと工夫しないと厳しいわね。



市債残高(ローン残高)や基金残高(貯金)を置き換えてみると…

(平成25年度末見込)

	市債残高(ローン残高)	基金残高(貯金)
川崎市	1兆386億円	2,037億円
家計	1,347万円	264万円